

住民の理解と参加を

社会を明るくする運動・青少年非行防止メッセージ伝達式

7月6日、「第57回社会を明るくする運動」、「青少年の非行防止メッセージ」



三木副会長(右)から速水市長にメッセージが渡される

「ジ」の伝達式が行われ、市役所を訪れた雲南地区保護司会、大仁地区更生保護女性会、雲南警察署の関係者から速水市長にメッセージが届けられました。

雲南地区保護司会の三木弘道副会長から「防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り」の標語のもと、地域住民の理解と積極的な参加により活発な「社会を明るくする運動」の協力を依頼する法務大臣メッセージが、雲南警察署の吉原署長からは、「近年、青少年犯罪が悪質になっている。地域の青少年は地域で守り、育てる」とする青少年非行防止メッセージがそれぞれ読み上げられました。

雲南ニュース

7月6日、永井隆生誕100年顕彰事業実行委員会の設立総会が開催されました。



あいさつする陶山会長

永井隆博士の生誕100年にあたり、博士の偉業を偲び、その精神を後世に伝えていくための各種事業を行うとするもので、実行委員会は三刀屋如己の会の会員や各地区地域委員の代表など30人で構成されています。

この日は、実行委員会の会則が確認されたあと、具体的な顕彰事業として、ケーブルテレビと協力して特別番組を制作・放映することや9月に行われる永井隆平和賞発表式典での特別記念公演、10月に予定されている平和コンサートなどが話し合われました。

実行委員会の会長に就任した三刀屋如己の会の陶山吉朗会長は「みなさんと力を合わせて顕彰事業に取り組みたい」と実行委員の協力を呼びかけました。

「如己愛人」、「平和を」の永井隆博士生誕100年顕彰事業実行委員会設立

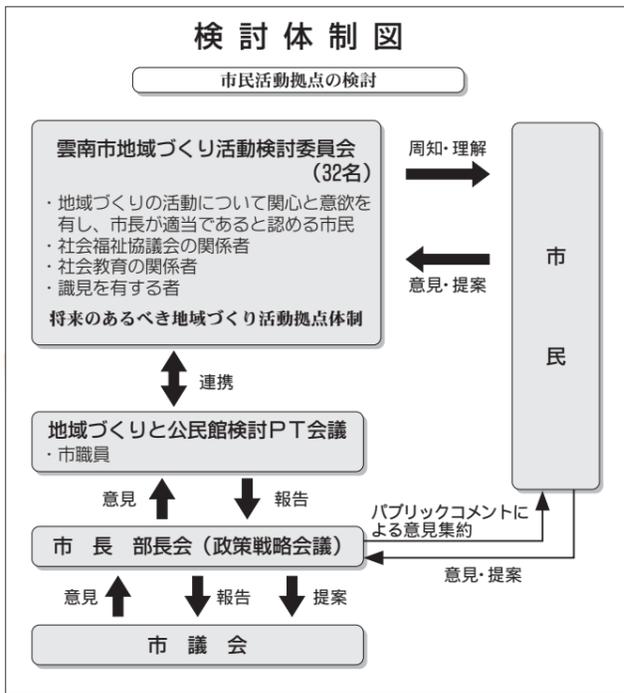
地域ぐるみのまちづくり

地域づくり活動検討委員会

6月8日、三刀屋文化体育館アスバールで地域づくり活動検討委員会が開催されました。

「市民が主役の自治のまち」を推進する雲南市では、市内全域で44の地域自主組織が設立される見込みで、今年度から本格的な取り組みが始まります。検討委員会では、地域づくりを推進する活動が活発に展開されるために、活動拠点の確保及びその運営体制のあり方が検討されます。

1回目となった8日の委員会では、速水市長から委員に委嘱状が交付されました。委員会の設置目的を確認し、



会長に笠松浩樹さんが、副会長に樋口和広さんが選任された後、早速、地域づくりの活動拠点について公民館との連携などを含めた検討が行われました。市民の積極的なまちづくりへの参加を期待します。



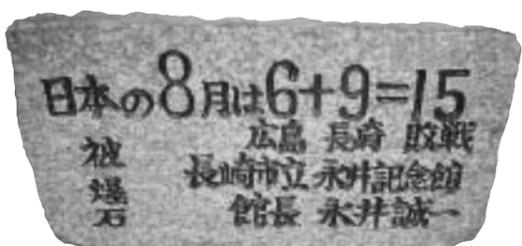
「平和を」の都市宣言のまち

永井隆博士生誕100年 シリーズ⑤

今年、永井隆博士生誕100年の年にあたることから、博士が残した恒久平和と隣人愛のメッセージを振り返り、顕彰していきます。



お互いに許しあうことが平和の基です。相手を憎む心が起こったら、もう自分も平和を願う権利を失ったのと同じです。相手を愛し、相手のために尽くしましょう。それが平和を保つ一番手堅い方法です。



被爆石に刻まれた言葉 (永井隆記念館展示品)

1945年8月、広島と長崎に原子爆弾が投下されました。たくさんの尊い命が一瞬で奪われ、今なお、多くの人々が苦しんでいます。平和な世界の実現のため、あの8月の原爆は決して忘れてはならない事実です。

永井隆記念館 ☎0854-45-2200

お詫びと訂正

●市報うんなん7月号の記載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。
P24 (裏表紙) 第17回永井隆平和賞作品募集 その他 (誤) 発表式典を9月10日 (日)
↓
(正) 9月9日 (日)